



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 日工株式会社
 コード番号 6306 URL http://www.nikko-net.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 辻 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 藤井 博 TEL 078-947-3141
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,001	47.7	276	—	361	315.4	270	106.6
2019年3月期第1四半期	5,415	△12.4	△26	—	87	△46.2	130	△28.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 27百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △9百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	35.27	—
2019年3月期第1四半期	17.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	44,099	30,211	68.5	3,942.37
2019年3月期	43,969	30,414	69.2	3,968.79

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 30,211百万円 2019年3月期 30,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期 (予想)	—	100.00	—	20.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

当社は、2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で、株式分割を実施予定としております。2020年3月期(予想)の年間配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、今回の修正は株式分割に伴うものであり、当初期末配当予想100円00銭からの実質的な変更はありません。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	16,600	12.9	1,100	131.9	1,250	109.8	900	59.5	117.47
通期	35,700	12.3	2,300	61.2	2,500	58.5	2,000	48.7	52.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で、株式分割を実施予定としております。2020年3月期通期の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、今回の修正は株式分割に伴うものであり、当初通期予想1株当たり当期純利益の261円04銭からの実質的な変更はありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	8,000,000株	2019年3月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	336,589株	2019年3月期	336,569株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	7,663,424株	2019年3月期1Q	7,661,642株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足資料は2019年8月7日（水）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦の影響や英国のEU離脱の行方をめぐってより一層不透明感を増しており予断を許さない状況となっています。一方でわが国経済は、政府と日銀による景気浮揚施策の継続を背景に、企業業績や雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いています。

このような状況の中、当社グループに関係の深い建設関連業界は、引き続き、順調に推移していますが、資材・物流価格の上昇や労働力不足による工事の遅延懸念といった問題は解決しておらず、予断を許さない情勢が続いています。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は80億1百万円（前年同四半期比47.7%増）、損益面では連結営業利益2億76百万円（前年同四半期比26百万円の損失）、連結経常利益3億61百万円（前年同四半期比315.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億70百万円（前年同四半期比106.6%増）となりました。

なお、より適切な経営情報の把握及び四半期連結財務諸表の開示を行うため、連結子会社のうち決算日が12月31日である海外子会社2社（日工（上海）工程機械有限公司 他1社）については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より、連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

この変更に伴い、当第1四半期連結累計期間は、2019年1月1日から2019年6月30日までの6ヶ月間を連結しております。

セグメントの業績は次の通りであります。

<アスファルトプラント関連事業>

国内の製品の売上高は、前期比増加しましたが、メンテナンス事業の売上高は前期比減少しました。海外の売上高は、輸出の増加に加え、日工（上海）工程機械有限公司において上述の当第1四半期連結会計期間より四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結する方法の変更に伴い前期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前期比65.9%増の39億17百万円となりました。

<コンクリートプラント関連事業>

国内の製品の売上高は、前期比大幅に増加しましたが、メンテナンス事業の売上高は前期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前期比46.2%増の24億42百万円となりました。

<環境及び搬送関連事業>

搬送製品の売上高は前期比増加しましたが、環境製品の売上高は前期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前期比6.6%増の4億92百万円となりました。

<その他>

破砕機の売上高は前期比増加しましたが、仮設機材、土農工具の売上高は前期比減少しました。この結果、当事業の売上高は24.8%増の11億49百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は440億99百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億30百万円の増加となりました。

流動資産は、296億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億88百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の8億41百万円、たな卸資産の11億6百万円のそれぞれ増加、受取手形及び売掛金の10億19百万円、電子記録債権の3億18百万円のそれぞれ減少したこと等によるものです。固定資産は、144億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億58百万円減少いたしました。主な要因は、有形固定資産の1億13百万円増加、投資有価証券の2億66百万円減少したこと等によるものです。

負債は、138億87百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億32百万円増加いたしました。主な要因は、未払金の1億6百万円、流動負債のその他の9億37百万円それぞれ増加、短期借入金の1億31百万円、未払法人税等の2億5百万円、賞与引当金の2億84百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産は、302億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億2百万円減少いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2億70百万円の計上による増加、配当金2億29百万円の支払いによる減少であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の69.2%から68.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,347	11,188
受取手形及び売掛金	10,731	9,712
電子記録債権	1,628	1,310
商品及び製品	1,190	1,209
仕掛品	3,903	4,810
原材料及び貯蔵品	933	1,114
未収消費税等	209	-
その他	453	342
貸倒引当金	△7	△9
流動資産合計	29,390	29,678
固定資産		
有形固定資産	6,507	6,620
無形固定資産	418	406
投資その他の資産		
投資有価証券	5,976	5,709
出資金	11	11
長期貸付金	6	11
繰延税金資産	576	639
その他	1,234	1,170
貸倒引当金	△152	△150
投資その他の資産合計	7,652	7,392
固定資産合計	14,578	14,420
資産合計	43,969	44,099

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,270	2,279
電子記録債務	938	984
短期借入金	1,532	1,400
未払法人税等	421	216
未払金	3,022	3,129
賞与引当金	412	127
役員賞与引当金	52	3
受注損失引当金	35	26
その他	2,095	3,033
流動負債合計	10,781	11,200
固定負債		
長期借入金	186	178
繰延税金負債	98	6
役員退職慰労引当金	135	129
退職給付に係る負債	2,010	2,033
その他	342	339
固定負債合計	2,773	2,686
負債合計	13,554	13,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,197	9,197
資本剰余金	7,808	7,808
利益剰余金	12,049	12,089
自己株式	△576	△576
株主資本合計	28,478	28,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,010	1,830
為替換算調整勘定	163	97
退職給付に係る調整累計額	△238	△234
その他の包括利益累計額合計	1,935	1,692
純資産合計	30,414	30,211
負債純資産合計	43,969	44,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,415	8,001
売上原価	3,798	5,838
売上総利益	1,617	2,163
販売費及び一般管理費	1,644	1,886
営業利益又は営業損失(△)	△26	276
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	112	105
その他	21	17
営業外収益合計	134	123
営業外費用		
支払利息	10	17
為替差損	3	14
損害賠償金	4	3
その他	1	2
営業外費用合計	20	37
経常利益	87	361
特別利益		
投資有価証券売却益	114	68
特別利益合計	114	68
税金等調整前四半期純利益	201	430
法人税、住民税及び事業税	137	246
法人税等調整額	△66	△86
法人税等合計	71	160
四半期純利益	130	270
親会社株主に帰属する四半期純利益	130	270

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	130	270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95	△179
為替換算調整勘定	△47	△66
退職給付に係る調整額	1	3
その他の包括利益合計	△140	△242
四半期包括利益	△9	27
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。